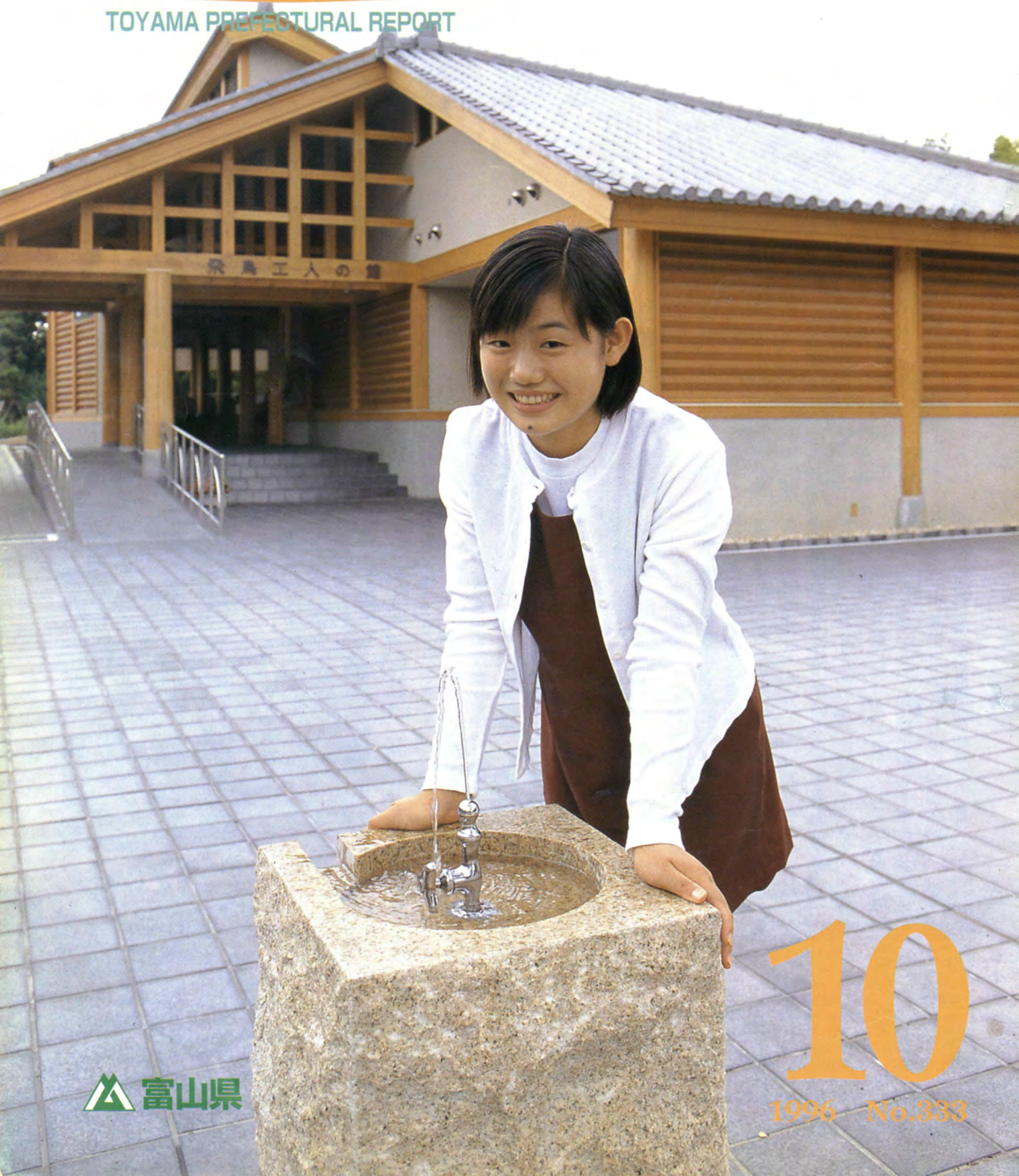


県 広 報

とやま

トピックス/ 富山県民福祉条例
富山県民文化条例

TOYAMA PREFECTURAL REPORT



INTERVIEW

ひとアズとやま

碁盤の上に宇宙を描く

全国高校囲碁選手権女子個人の部優勝

森川紗衣さん



「準決勝まではスムーズに勝ち上がりましたが、決勝は二転三転する苦しい戦いでした」と大会を振り返るのは、全国高校囲碁選手権女子個人の部で見事優勝を果たした高岡商業高校三年の森川紗衣さん。幼い頃、祖父から囲碁の手ほどきを受けたという森川さん。「祖父にはよく地元の公民館へ連れていってもらい、おじさんたちを相手に碁を打っていたようです。でも、その頃のことはよく覚えていないんです。物心ついたときには、そばに碁盤があったという感じがですね」。そのうち、パソコン通信「GO-NET」で全国の強豪と対戦するようになり、森川さんはめきめきと腕を上げていきます。

さて、全国大会では、栃木県、香川県、福島県・東京都の代表を難なく下して決勝へ。相手は静岡の強豪、高梨さんです。序盤の劣勢を中盤にかけて徐々に盛り返し、まさに勝利が目前となったときにミスをしてしまった、と戦いを振り返る森川さん。「普通に押さえておけば中央に大きな地ができたのに、打たなくてもいいところに打ってしまったって、逆転されてしまったんです」。しかし終盤は、細かい局面を読み切り、見事三目半勝ちをおさめました。

碁を打っているときは、全く周りが見えなくなるくらいに集中できるという森川さん。「集中しているときの自分自身が好きなんです。それから、囲碁の魅力は何といつても一つとして同じ局面にならない奥の深さでしょうね」。また、武宮名人の大ファンである森川さんは、特に「宇宙流」と呼ばれる名人の棋風がお気に入り。「強い棋士は、それぞれ自分の棋風を持っています。武宮名人の宇宙流とは、碁盤の中央の地を厚くする戦術で、その名のとおりのスケールの大きさが特徴なんです。自分もあんな棋風を身に付けていきたいですね」。

当面の目標は、志望大学に合格し、囲碁部で活躍すること。「将来は、子どもたちに囲碁を教えて、その楽しさを伝えられたらと思います」とにっこり。これからも、ますますその棋風に磨きをかけ、碁盤の上に大きな宇宙を描き続けてくれることでしょう。

10 CONTENTS

10月号もくじ

とやま遊学感	表紙
小杉丸山史跡公園	表紙
ひとアズとやま	1
全国高校囲碁選手権女子個人の部優勝 森川紗衣さん	2
クローズアップ	2
①世界野生生物フィルム・ ツアーズとやま	2
②富山県防災フェスティバル	4
③彩りともやま緑化祭'96開幕	4
トピックス①富山県民福祉条例制定	4
トピックス②富山県文化条例制定	4
PINUP TOYAMA	8
写真/谷川昭夫 (富山県写真家協会会員)	8
詩/山本哲也 (富山現代詩人会会員)	8
ふるさとみてある記 (入善町)	10
①米俵づくり 長島文次さん	10
②下山芸術の森	12
③健康運動指導士 上野美和子さん	12
エッセイ/森野信生	12
(とやま森の歌劇団代表)	12
全国マルチメディア祭'96 in とやま	13
県からのお知らせ	14
暮らしのアドバイス	16
とやまの祭事記/柿沢神社秋季祭礼	表紙
神輿の火渡り (上市町)	3

▼ 飛鳥時代の陶器などのレプリカを展示 (飛鳥工人の館)



▲ 陶製の史跡ジオラマ



▲ 登窯を復元



はるか飛鳥工人に思いを馳せて —小杉丸山史跡公園—

レポーター: 大原綾子さん (富山医科薬科大学)
(表紙の人)

小杉町から大門町にかけての射水丘陵には、古代の須恵器窯や製鉄炉の跡などが数多く分布しています。特に、今回私が訪れた小杉丸山遺跡からは、全国的にも珍しい大規模な工房跡、住居跡が発見され、国指定史跡になっています。

さっそく、史跡公園の川筋さんに案内してもらいました。公園入口にある明るい色調の木造建築物が「飛鳥工人の館」その名の通り、飛鳥時代(七世紀頃)にこの地で活躍した工人の様子を紹介する施設です。館内には、瓦や須恵器などの復元レプリカが展示されているほか、製鉄炉跡が出土された状態そのままで保存されています。川筋さんによれば、六世紀頃から野焼きの土師器にかわって窯焼きの須恵器が作られるようになり、器の用途も煮炊き用から保存用へと拡大していったそうです。また、瓦の文様などから、越中国府があった伏木の寺院の瓦が、ここでつくられていたことも判明したとのこと。「つまりこれは、古代の工業地帯だったんですよ」という川筋さんの説明に、思わず納得。

屋外の所々には、窯のあった場所に石が敷きつめられ、その形がわかるようになっています。また、登窯が当時のまま復元されていて、実際にここで陶器を焼いてみる体験学習も予定されているそうです。皆さんも、小杉丸山史跡公園で、はるか古代の飛鳥工人に思いを馳せてみませんか。



▲ 製鉄炉跡を出土状態のまま保存



飛鳥工人の館の外観 ▶

飛鳥工人の館	
所在地	射水郡小杉町流通センター 青井谷1丁目
開館時間	午前9時30分～午後5時
休館日	火曜日、国民の祝日の翌日
電話	☎ 0766 (56) 4369

●9月1日 花ある人を育てた135日間

彩りとやま緑化祭'96閉幕

メイン会場の一つ、高岡おとぎの森公園で行われた閉会式では、実行委員長の中沖知事が「このフェアを契機として都市緑化の機運が高まり、さらに豊かな暮らしが実感できる地域づくりが推進されることを願う」とあいさつ。来賓による祝辞、各種花飾りコンテストの表彰に続いて、中沖知事、佐藤高岡市長、岡部砺波市長から、次期の全国都市緑化フェア開催地である広島市の平岡市長にフェア旗が引き継がれました。平岡市長は、「広島にとって花と緑は復興のシンボル。富山県に続いて開く緑化祭で、緑と命を育んでいきたい」とあいさつ。閉会式終了後は、中沖知事をはじめ実行委員会関係者が、出口ゲートで来場者を見送りました。会期中は、県下六会場あわせて約百九十一万人（うち高岡市の二つのメイン会場には、五十二日間約百九万人）が訪れ、花と緑を大切にすることを全国に向けて発信しました。



▲広島市の平岡市長に引き継がれるフェア旗

▶消防防災グッズの展示



●8月25日 広げよう 自主防災の輪

富山県防災フェスティバル

対して表彰が行われました。また、中央防災会議専門委員の伊藤和明氏の「地震と住民意識」と題した講演もあり、会場を埋め

尽くした多くの人々は、興味深げに耳を傾けていました。屋外では、各種消防防災グッズの展示販売をはじめ、震度七まで体験できる起震車や高さ五十メートルの梯子車の試乗、防災ヘリコプターの展示などが行われました。また、射水消防署のレスキュー隊員が、ビルの屋上から被災者を救出する実技訓練を披露。家族連れらは、熱心に見入っていました。今回のフェスティバルを契機に、県民一人ひとりの自主防災意識が高まるとともにその輪が広がり、災害に強い町づくりにつながっていくものと期待されます。

▶高さ50mの梯子車の試乗



▲起震車で震度7を体験

●8月9日～11日、24・25日 世界の野生生物映像が一堂に

世界野生生物フィルム・ツアー in とやま

▼羽仁進氏による映像トーク



自然、動物、昆虫、植物など数々の貴重な映像を上映する「世界野生生物フィルム・ツアー in とやま」が八月九日から十一日および八月二十四・二十五日、県下四会場で開催されました。これは、本県で隔年開催されている「ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル」と連携して、その非開催年に「富山野生生物」としての定着を図るために初めて開催されたもので、イギリスのワイルドスクリーン、アメリカのジャクソンホール各映像祭での優秀作品十本を上映。会場となったタワリー111（富山市）、ア・ミュージアム（福野町）、ラ・ポール（小杉町）、黒部市吉田科学館には四会場延べ約五千人の観客が訪れ、日頃なかなか目にすることができないような大自然の営みの映像を満喫していました。このほか、富山会場では、野生生物写真家、岩合光昭氏の写真展や、映画監督、羽仁進氏の映像トークなども催され、夏休み中の子供たちには、自然や環境保全へ関心を深めるためのよい契機となりました。



▲野生のパンダが誕生し、巣立っていくまでを描いた世界初の長期研究記録「パンダの秘密」より

災害に強い町づくりと県民の防災意識の高揚を目的に、初めての富山県防災フェスティバルが八月二十五日、県民公園太閤山ランドで一般県民や消防防災関係者約五千人を集めて開催されました。テーマは、「みんなで広げよう自主防災の輪」。ふるさとパレスで行われた開会式では、中沖知事、鹿熊県消防協会会長のあいさつに引き続き、地域防災に積極的に貢献している県内の自主防災組織に

県政の動き

平成8年8月9日～平成8年9月10日

- 8月9日 野生生物フィルム・ツアー in とやま（～11日、24日・25日）
- 8月14日 第3回Uターンフェア・イン・とやま
- 8月15日 第34回富山県戦没者追悼式
- 8月22日 第4回環日本海インターハイ親善交流大会（～31日）
- 8月23日 第14回北方領土返還要求富山県大会
- 8月25日 富山県防災フェスティバル
- 9月1日 第13回全国都市緑化とやまフェア閉会式
- 9月3日 平成8年度富山県総合防災訓練
- 9月5日 富山県がん攻略シンポジウム
- 9月6日 日本海沿岸16道府県知事サミット（東京）
- 9月10日 9月定例県議会（提案理由説明）

幸せに生きる福祉社会の実現 富山県民福祉条例を制定



富山県民福祉条例が平成8年9月27日に公布・施行（一部は後日施行）されました。この条例は、高齢化、少子化、核家族化等の進展に伴う様々な福祉に関する問題に対応するため、福祉施策を総合的に推進し、県民の福祉の増進を図ることを目的にその基本理念や基本的な施策などを明らかにするものです。

条例の特徴

1. 福祉人材等のソフト面と生活関連施設の整備等のハード面の両面にわたる総合的条例
2. すべての県民を対象とし、特に高齢者、障害者等に配慮
3. 多様な福祉サービスの提供、福祉に関する産業の振興等、新しい視点が盛り込まれていること
4. 幅広く県民の意見を聴いて策定



制定の意義

高齢化、少子化、核家族化等の進展に伴う家庭における介護能力等の低下に対応するため、家庭、地域社会、行政が一体となって、介護支援体制の整備を図り、また障害者等の社会参加を促進する環境や児童が健全に生まれ育つ環境の整備を図っていくことが、大きな課題となっています。

富山県民福祉条例は、このような状況を踏まえ、本県独自の立場から福祉施策について、今後の基本的方向を明確にするものです。

基本理念

- 富山県民福祉条例は、
- ①すべての県民が個人として尊重される社会
 - ②すべての県民が互いに支え合い共に生きる社会
 - ③すべての県民が健やかで安全かつ快適な生活を営むことができる豊かな社会
 - ④すべての県民が等しく社会的活動に参加することができるとともに、福祉社会の実現に向けた県・市町村・事業者の責務と県民の役割を明示するとともに、福祉に関する施策の基本方針を定め、次に掲げる福祉に関する基本的な施策を明らかにしています。



施策の概要

県では、この条例に基づき、「人づくり」、「ネットワークづくり」、「まちづくり」を基本として次のような福祉施策を総合的、計画的に進めていきます。

●福祉の心の醸成（人づくり）

- ・県民の福祉に対する意識啓発と、福祉教育の充実
- ・幅広い福祉人材の養成、確保及びその資質の向上

●福祉の輪の形成（ネットワークづくり）

- ・保健、医療及び福祉等の施策の有機的連携と多様な福祉サービスの提供体制の整備
- ・福祉に関するボランティア活動を行いやすい環境づくり
- ・福祉に関する相談や情報提供の体制の整備
- ・高齢者、障害者等に対する福祉に関する情報提供の充実

●自立と社会参加への環境整備（まちづくり）

- ◇社会環境の整備
 - ・県民の健康の保持・増進のための支援
 - ・介護の支援体制や福祉施設の整備の促進
 - ・母子保健等の充実や子どもが健やかに生まれ育つための環境づくり

◇生活環境の整備

- ・人にやさしいまちづくりを推進するための生活関連施設の整備基準の策定や新築等の届出など（なお、整備基準等の詳細については、今後、規則で定める予定です。）



しあわせに生きる福祉社会をめざして

県では、市町村、事業者、県民の連携協力のもと、「幸せに生きる福祉社会」の実現をめざしていきます。県民の皆さんも、この条例の趣旨をご理解のうえ、高齢者、障害者等に対する理解を深め、互いに支え合い共に生きる地域社会づくりに努めていきましょう。

文化の香り高いふるさと富山の創造に向けて 富山県民文化条例を制定



富山県民文化条例が平成8年9月27日に公布・施行されました。この条例は、ゆとりと豊かさが実感できる「文化の香り高いふるさと富山」が創造されることをめざして、文化の振興に関する基本理念や施策の基本となる事項を明らかにするものです。

制定の意義

今日、県民の生活意識が「物の豊かさ」に加え「心の豊かさ」を求めるようになると、文化の振興に寄せられる期待がますます高まっています。

本県には、先人の遺産として受け継がれた優れた伝統文化があるほか、新しい文化も次々に創造されています。また、地域の特色ある文化施設の整備も進み、様々な催しが数多く開催されるようになりました。特に今年には、「いのちとくらし」とやまマンダラ大絵巻」をテーマに第11回国民文化祭とやま'96が県内一円で開催され、音楽や演劇、舞踊など多彩な文化の祭典が繰り広げられるなど、県民の文化に対する関心がこれまでにない高まりを見せています。これらを踏まえ、富山県民文化条例の制定によって文化の振興に関する施策を総合的、計画的に推進することとしています。



基本理念

富山県民文化条例は、次の四つを基本理念としています。

- ① 文化の振興は、ア、県民の文化活動を通じた心の豊かさの追求が支援されること イ、地域文化の創造活動が促進されること ウ、これらを通じて活力ある地域社会が形成されることによつて、「文化の香り高いふるさと富山」が創造されることを旨として、県民とともに行われるものとする。
- ② 文化の振興にあたっては、文化の担い手が一人ひとりの県民であることから、県民の自由な文化活動が尊重されなければならないこと。
- ③ 地域の文化遺産は、県民が誇りを持つことができる共通の財産として将来の世代に引き継がれるものとする。
- ④ 国際文化交流は、それが国際相互理解及び文化の発展に資することから、積極的に推進されるものとする。



県民の自主性および創造性が発揮されるよう十分配慮しつつ、県民が文化に親しみ、文化を生活に生かし、文化を創造することができるような諸条件の整備に努めることを施策の基本方針としています。

このほか、施策を実施するため必要な財政上の措置を講ずるよう努めることや、市町村及び民間団体等に対しては必要な援助ができること、文化の振興に関する調査研究、文化の振興に功績のあった者または優良な事例の顕彰に努めることを明らかにしています。

文化振興施策の 基本方針と概要

- ① 芸術文化、伝統文化および生活文化等の振興
- ② 国際文化交流および環日本海文化交流の推進
- ③ 文化活動の担い手の育成、文化活

県では、今後、文化の担い手である県民の皆さんとともに、この条例に基づき文化の振興を図り、ゆとりと豊かさが実感できる県民生活の実現に努めていきます。



空の吐息が――

冷えた木の葉の弦を
弾いている と言うとも

乾いた幹間に
染められている と言おうとも

混ざった樹液までも
包んでいる と言えども

この秋の 秋の中の風景には
どんなことばも 透けてゆく
むろん わたしも
一点となって

PIN UP
TOYAMA
ピンナップとやま

入善町

◎入善町の概要
黒部川扇状地の六割を占める広い平野に恵まれ、コシヒカリなどの良質米産地として知られる。チューリップや藤原イチゴの栽培も盛んで、富山ジャンボスイカは夏の味覚の主様である。その他にも、環境庁で実施した「名水百選」に選ばれているのが、黒部川扇状地湧水群。入善町では水質保存のため、地下水の総合的研究を実施している。

米には やっぱり俵が一番!

米俵づくり名人 長島文次さん



▲長島文次さん



「米は生きているんだから、品質を落とさずに長持ちさせるには、やっぱり俵が一番でしょうね」と、米俵づくり名人の長島文次さん。
本来、米俵といえば大人がやっとな大きなものを想像するが、長島さんが作る米俵は、重くても十キログラム程度のミニ米俵である。「贈答品として喜ばれています。この他にも、複数の米俵を紅白の紐で結わえた「福俵」も作っているんですよ。飾り用として評判の福俵は、「福を呼ぶ俵」として、嫁入りの時や新築の時など縁起物としても使われている。長島さんが米俵作りを始めたのは十四年前。町の農業祭に

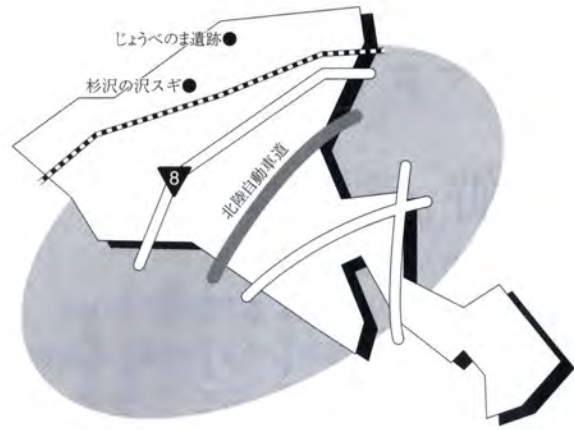
出されるらしく、毎年米を持参して俵を編んで欲しいという人もいるんですよ」と長島さんはうれしそうだ。人気の秘密は、見た目だけではなく、お米の品質を保つ通気性の良さにもあるらしい。

わらに囲まれ、仲間同士が和やかな雰囲気の中で編み上げていく米俵。その一つ一つには長島さんたちの暖かい真心が詰まっているに違いない。

特産物として出品したところ、好評を得たのがきっかけだ。「県外の方に贈ると喜ぶ



▶「福を呼ぶ」福俵



人口 / 28,814人
面積 / 71.29km²
(平成8年8月1日現在)

大正のロマンが漂う芸術の森

下山芸術の森



▲長縄宣之さん



▲発電所の面影を残した広い館内



▲アトリエ内

ろんな展示方法が可能なんですよ」。
敷地内にはこの美術館のほか、実際に制作が出来るアトリエや扇状地一帯を見渡せる展望棟などがある。特にアトリエには、木彫や石彫などの制作に便利ようにクレインが設置されているという。「アトリエで制作した作品を、順次アトリエスペースで展示していくのが理想です。現在は、アトリエでの長期制作に備えて宿泊棟を建設中なんです。つまり、下山芸術の森は、単に作品群を展示する美術館というだけでなく、今を生きる美術の発信基地ともいえるのである。

取り壊される運命にあったレンガ造りの発電所が、「下山芸術の森アトリエスペース」として、生まれ変わった。
「大正十四年に建てられた発電所の雰囲気を残すため、機械の一部

“自分の管理は自分の手で”が理想です

健康運動指導士 上野美和子さん



▲上野美和子さん



「体の機能は、運動しないと必ず衰えてくるものなんです」と語るの、健康運動指導士の上野美和子さん。

入善町出身の上野さんは、二十一年にわたり東京などで看護師を務め、その間、健康運動指導士やヘルスフィットネスインストラクターなど様々な資格を取得した。また、青年海外協力隊や国際協力事業団などを通じて、海外での医療活動に従事するなど、履歴書に書ききれないほどの経歴の持ち主である。



▲アクアエクササイズの様子

現在、健康増進施設「パーデン明日」で、エアロピクスやアクアエクササイズなどの運動指導を行う。「最近私たちは、体に酸素をたくさん取り込む運動をしなくなりつつあります。でも、それをしなければ、体の機能が低下するだけでなく、成人病などにもつながるんですよ」。ただ、運動を継続するのは容易なことではない、と上野さんは指摘する。「とにかく、いかに好きになってもらうかがポイントでしょうね」。
上野さんの今後の課題は後継者の育成。運動の分野だけではなく、医学の面で理解しながら指導できる人を育てたいという。「でも結局は、自分の体は自分で管理するのが理想です。そのお手伝いをするのが私の役目なんです」と、上野さんは笑顔で締めくくった。

全国マルチメディア祭'96 in とやま

平成8年11月7日(木)・8日(金)・9日(土)・10日(日)

「住みよき日本一」といわれる富山県。

今後、「住みよい県」から「住みたい県」をめざすときクローズアップされるのは、

“マルチメディアがもたらすゆとりや豊かさ”という新しい価値観です。

富山県で開催する「全国マルチメディア祭'96 in とやま」は、マルチメディアがもたらす暮らしの変化を富山県の事例をもとに検証し、今と未来の可能性をつぶさに見つめて触れて実感する4日間のプログラムです。

テーマは、『飲んでみられ マルチ丸』～住みよいまちから住みたいまちへ～。

富山県が発信する「情報化社会の祭典」はいま、

文字どおり“マルチプルな時代への扉”を大きく開きます。

地域情報化サミット

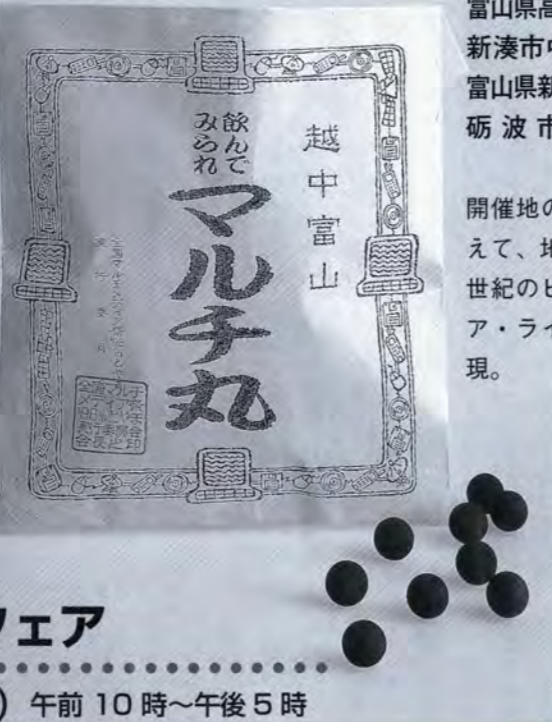
11月7日(木) 午後1時15分

富山市芸術文化ホール

テーマ「住みよいまちから住みたいまちへ」

「学び・遊ぶ」「働く」「暮らす」の3つの視点から、「住みたいまち」を創造するためにマルチメディアをどう役立てるかを討論・提言。

コーディネーター
柏倉康夫 京都大学文学研究所教授
コメンテーター
月尾嘉男 東京大学工学部教授
中尾哲雄 (株)インテック代表取締役社長
立川志の輔 落語家
小平桂子アネット ニュースキャスター



地域情報化フェア

11月7日(木)～10日(日) 午前10時～午後5時

テクノホール (メイン会場) 情報ビル (サブ会場)

マルチメディアの便利さや楽しさを、わかりやすく実感するための体験フェア。情報機器やシステムの展示・実演のほか、映像ソフトやゲームソフト、インターネットなどを紹介。

問合せ 〒930-80 富山市新総曲輪1-7

全国マルチメディア祭'96 in とやま実行委員会事務局 (県庁情報企画課内)

☎ 0764 (44) 3116

FAX 0764 (44) 3483

E-mail: mm96@pref. toyama. jp

ホームページ <http://www.triton.ad.jp/mm96/>

地域情報化フォーラム

11月8日(金)

富山県教育文化会館 午前9時30分
富山県高岡文化ホール 午後1時30分
新湊市中央文化会館 午後1時45分
富山県新川文化ホール 午前9時25分
砺波市文化会館 午後1時

開催地の地域特性を背景とする事例を交えて、地域における情報化の「今」と21世紀のビジョンを検討し、マルチメディア・ライブへの理解の場をステージに表現。



オペラ草の音?? 運動

とやまの森歌劇団代表

洗足学園魚津短期大学音楽科教授 森野信生

指揮者が登場、拍手が止み、よいよ序曲が始まる。この時の緊張感というものは、演奏する側にとっても、聴く側にとってもたまたまなくいいものである。とにかくドキドキ、ワクワク……。この快感を知ってから何年になるだろう。

何しろ、高校時代までは多少音楽に興味はあったものの、ラジオのダイヤルを回している時に、ちょっとでもオペラらしきものが聞こえてもしたら「うわっ」と小さな呻き声とも言えそうな声を出し、急いでダイヤルをよそへ回した思いは今でもハッキリ覚えている。それ程、合唱ではない、声楽の独唱というものにある種の違和感、いや嫌悪感に近いものを持っていたのである。

それが今では、どうしてドキドキワクワクなのか考えると不思議である。

初めて、「おもしろいもんだなオペラも」と思ったのは、大学の学生寮の食堂のちよつと大きめのテレビで、なんとなく観てしまった、今思えば「ベートーヴェンのフィデリオ」が終わった時。字幕スローパーでストーリーに興味を持ったからである。声も音楽も全く印象に残っていない。その後、家族だか友人だかに誘われ、なんとこれも今思えば、本場ミュンヘンオペラの「ドン・ジョヴァンニ」を上野の文化会館で観たのである。ところがこれが眠くて眠くて……。字幕はないし意味はさっぱりわからないし……。でも一曲だけ、「こりやおもしろい曲だな、声も立派だし」と思った事があったことは覚えている。そ



ない。出前コンサートをしてでも、楽しさのサワリを味わってもらおう。そして一人でも多くの人にいつか本物に出合ってもらい、地元或いはよその団体によるオペラ公演が盛んになればと思つて、仲間と「とやまの森歌劇団」をつくつた。草の音を大切にしよう。

これは、レボレロのアリアで、カタログの歌。なんとご主人様の女性遍歴を歌った歌。そんなこんなで、例の嫌悪感なるものは少なくなかり、徐々にオペラに親しみ始め、合唱団に誘われ、声楽のレッスンを受ける事をすすめられ、その気になって音大の音楽科に入り、ドイツに留学させてもらうチャンスに恵まれた。そこでは本当に毎晩のように東西ベルリンのそれぞれの劇場に通つたものである。帰国してからは、東京で二期会や他のオペラ団体からの依頼でオペラに出演して、オペラに関わっているという、それなりの充実感味わうことが出来たように思う。

ところが、ところがである。その後イタリアに留学して帰国し、次の年に富山県に来てからは、じつとしてオペラと縁遠くなつてしまふのである。オペラの楽しさを知っている人はほんの一握り。あとは以前の自分の様に、違和感を持っているか或いは無関心な人が多い。演奏したり聴いたり、あのドキドキワクワクをここでも味わいたい。なんとかオペラの楽しさを伝えねば。オペラでも草の根、いや草の音運動が必要なのかも知れない。

ESSAY

お知らせ

第11回国民文化祭とやま96国際ポスター展 「トヤマポスタートリエンナーレ」選抜展開催

県立近代美術館が、1985年から3年ごとに開催している「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」展の過去4回の入賞、入選、審査員作品約400点を展示します。

観覧料 一般200(160)円 高・大生160(100)円 小・中学生100(60)円

公文書館特別企画展「越中の一向一揆」開催

越中の戦国期は一揆の時代でした。今回の展示では、激動の歴史をつくった越中の一向一揆に関係のある貴重な古文書を展示します。

期間 平成8年10月14日(月)～12月13日(金) 午前9時～午後5時(土・日・祝日は休館)

平成8年度ボランティア養成講座 「やさしい精神保健福祉」開催

精神保健福祉ボランティアを養成し、地域に根ざしたきめこまやかな社会復帰への支援を行い、「こころの健康づくり」を促進することを目的として開催します。

対象者 精神保健福祉のボランティア活動に関心がある人 金曜日(計10回)

国民年金保険料口座振替プレゼント キャンペーンのお知らせ

国民年金保険料の納付には、便利で安心・確実な口座振替がお勧めです。このたび次の通り国民年金健康保養センターひびみア泊券(10組)、テレホンカード(50枚)などがあたるプレゼントキャンペーンを実施します。

応募期間 10月から11月末日まで 応募対象者 現在口座振替している方および11月末日までに口座振替の手続きをされた方

募集

第7回富山県勤労者美術展出品作品募集

12月5日から8日まで開催される富山県勤労者美術展への出品作品を募集します。この美術展は、県内の勤労者が自由時間を利用して制

定員 20名～30名 会場 高岡商工ビルほか 申込方法 10月11日(金)まで、はがきに住所、氏名、電話番号を記入のうえお申し込みください。

児童福祉週間第50回記念 21世紀の子どもと家庭国際シンポジウム

これからの子育てや家庭のあり方は、どうあるべきか?また、子どもや家庭を取り巻く社会は、どうあるべきか?海外の識者を招き、国際的な比較をしながら、今後の方向について考えていきます(入場無料)。

申込方法 往復ハガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、お申し込みください。 締切り 平成8年10月28日(月)必着(応募者多数の場合は抽選)

第3回健康保険ビーチボール大会開催

いつでも、どこでも、だれでも、が合言葉のビーチボールで、あなたも気持ちいい汗、流してみませんか。たくさんのお申し込みを待ちえています。

参加資格 (1)健康保険(政府管掌、組合管掌)の被保険者 (2)大会前日までに引き続き2か月以上の被保険者資格があり、当日も被保険者であること

土木の日「県民見学会」参加者募集

地方拠点都市地域基本計画が承認された新川地区で展開されている道づくり、川づくり等を見学し、土木施設の役割を理解していただきます。

見学会所 北陸自動車道泊トネル(朝日町)、水の小径(入善町)、高橋川(黒部市)、新川文化ホール(魚津市)等

みなさんの相談窓口

- 県政について 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ●物価ダイヤル 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。 ●消費生活については 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見を寄せてください。 ●テレビ広報 「ふるさとトーク」 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

平成8年10月街頭献血日程

Table with 3 columns: 日曜日, 献血場所, 時間. Rows include JR福光駅前, 細入村役場前, 福野町文化創造センター, etc.

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等をご確認ください。 ●マリエとやま6階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。

3名・女子の部(女子4名) 競技方法 予選はリーグ戦、決勝はトーナメント方式 申込み 10月18日(金)までに管轄の社会保険事務所庶務課へお申し込みください。

「秋の薬草を親しむ会」開催

富山県薬用植物指導センターでは、広く県民の皆さんに薬草を親しんでいただくため、次のとおり「秋の薬草を親しむ会」を開催します。皆さんの参加をお待ちしております(参加無料)。

日時 10月25日(金) 午前9時30分から午後3時30分 場所 富山県薬用植物指導センター(上市町広野) 集合場所 富山県薬用植物指導センターまたは上市駅(9時15分発センター行きマイクロバスを運行します。)

「関西国際空港便開設」のお知らせ

今年7月の函館便就航に引き続き、このたび富山空港における第6番目の国内路線として、全日空による関西国際空港便が就航しました。当路線の開設により国内外各地への乗り継ぎが可能となりました。

対象者 16歳以上の一般県民40名程度(希望者多数の場合は抽選) 参加料 無料(昼食は用意します。)

申込方法 往復はがき(返信用に住所、氏名を明記)に、(1)氏名(2)年齢(3)住所(郵便番号)(4)電話番号を記入のうえ、お申し込み下さい。

県立大学「秋季公開講座」受講者募集

将来のマルチメディア社会への技術研究の取り組みや様々な分野での情報化などについて、8人の講師が話題を提供します。

メインテーマ コンピュータと人間 日時 10月12日、19日、11月9日、16日の各土曜日 午後2時～午後4時30分

とやまの祭事記

十月



火の粉のなかに神輿が揺れる

柿沢神社秋季祭礼 神輿の火渡り (上市町)

上市町の柿沢神社では十月二十日の秋季祭礼の深夜、勇壮な「神輿の火渡り」が繰り広げられる。

祭りの朝、独特な白い衣装に身を包んだ青年団員たちに担がれた神輿が神社を出発する。まず、般若に似た赤い面をつけた「バツ」が先頭に立ち、これに提灯を竹の棒にさして高く掲げた子供たちと神輿が続く。神輿は地区の家々を一軒一軒訪れ、担ぎ手たちは差し出されるお神酒を回し飲む。次第に体がほてり、神輿の動きも勢いづいてゆく。

あたりが闇に包まれると、境内にうずたかく積まれた木の枝に火がつけられる。夜空に高く燃え上がる火はやがておさまり、燃えさしが燦火となつてぼんやりと赤く浮かび上がる。深夜にもかかわらず人々であふれる境内に神輿が姿を現すと、祭りはいよいよクライマックス。平らにならされた燦火が棒でかき回され、火の粉が勢いよく舞い上るなかへ神輿が踊り込む。あたりに渦巻く黒煙や歓声、そして激しく揺れる神輿や担ぎ手に降りかかる火の粉や灰。その荒々しい光景に境内は興奮の坩堝と化する。

やがて燃えさしの火が担ぎ手によって完全に踏み消され祭りが終焉を告げると、それまで歓声がこだましていた境内は、再び静けさに包まれてゆく。

ところで、この祭りがいつ頃から今の形態になったかは定かではないが、祭りに注ぎ込む人々の熱い心は、遙か昔から脈々と受け継がれていることは確かである。

暮らしの

アドバイス



使用しないクレジットカードの解約

Q 以前、勧められてクレジットカードをつくったのですが、まったく使用していません。年会費だけが毎年引き落とされ、もったいないので解約したいのですがどのような手続きをしたらいいのでしょうか？

A カードを発行しているクレジット会社に解約の意思を伝え、会社所定の解約届出書等を提出するとともにカードを返却します。返却するカードは不正に使用されるのを防ぐために、ハサミを入れておくとう安心です。

カード会員(消費者)と、クレジット会社の関係は、入会時に渡される会員規約によって定められています。規約によると、カードはクレジット会社が会員に貸与しているものです。会員は自分のものを取り扱うのと同じく、その注意深さをもって、カードを使用・管理しなければなりません。使わないからといってカードを勝手に処分してはいけません。ただし、有効期限が切れたカードは自分で処分しても良いことになっています。カードの有効期限は、たいていカードの表面に記載されています。ところで「利用するつもりのないカードを無断で更新して送ってきた」という苦情がよせられることがあります。しかし、期限が切れることが即解約にはならないこともあるので注意が必要です。

カードを多く持っている場合と管理が大変ですし、トラブルに巻き込まれる可能性も高くなります。使うつもりのないカードは解約し、保有枚数をできるだけ少なくして、管理に留意しましょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★「紹介されるのは、おじいちゃんばかり。たまには、お父さんのことも書いてあげて」と、囲碁の高校生チャンピオン、森川さん。彼女に囲碁を教えたのは、お祖父さんなのだから仕方がない。「お父さんの言葉が囲碁に役立ったとか、優勝したとき一番喜んでくれたとか、何かエピソードはない?」と訊ねると、長考の後、「そんなことはないけど、毎朝駅まで送ってくれます。」(K)

★先日、先輩の結婚式と披露宴のビデオを見せてもらった。いつもは何事にも豪快なその人の思いつきり緊張した表情や挙動に一同大笑いしながら、これからはあまり飲みに連れて行ってもらえなくなるだろうと思うとちよつときさみしいけど、その人の幸せを陰ながら願うとしよう。(A)

★タクシードライバーの運転手さんは道に迷わないものと、絶大な信頼を持っていたが、見事覆えされる出来事がありました。通りすがりの人に道を聞いて、取材先までを理解したように見えたのもつかの間、運転手さんは、言われたとおりに進んでくれない。思わず「そこは真直ぐですよ」と声をかけたにも関わらず左に曲がる運転手さん。どうも私の言葉は、信じられなかったらしい。(A)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成8年11月22日消印有効です。

氏名	富山県広報課
住所	写真プレゼント
電話	10月号係あて
本誌を読んだ感想	

あんたが行かんや、
だれが行くがいね!

(富山市、有澤嘉晃さん)

ナニ!投票したくない?
なら、立候補せい!

(大沢野町、坪田忠治さん)

選挙に行く
あなたが好き!

(富山市、寺西史江さん)

今年はあなたもお父さん
娘の豊かな将来に一票を

(富山市、今川富士子さん)

カレンダーに
マル付けてね(投票日)

(高岡市、綿谷綾乃さん)

誰も何もしてくれないよ!
自分の意見は伝えなきゃ

(氷見市、高橋守久さん)

夢と投票は
忘れちゃいかん

(高岡市、坂井美恵さん)

投票日だよ
レッツゴー

(朝日町、中村おろきさん)

大人つていいね
投票できるんだもん

(城端町、大道達さん)

二人でいつてらっしゃい
チーちゃん見てるから

(滑川市、櫻木ミチ子さん)

棄権は危険です
明るい社会づくりに

(新津市、倉谷昭吉さん)

そうだ! そうだ!

キャスター
室井

10月20日(日)は 富山県知事選挙 衆議院議員総選挙 投票日
最高裁判所裁判官国民審査

富山県選挙管理委員会・富山県明るい選挙推進協議会

ここに掲載したフレーズは、みなさんから公募した選挙啓発キャッチフレーズの最優秀作品および優秀作品です。